

ユーエイ 現場の「段差」スムーズに 段差乗り越えキャスター

ユーエイ(雄島耕太社長、大阪府東大阪市)が昨年リリースした「段差乗り越えキャスター」。物流現場に潜む、ちょっとした段差をスムーズに通り返けることができる優れたものだ。同製品の開発に携わった、新製品開発課主任の宮下幸美氏に話を聞いた。

現場における作業負担の軽減や効率向上などが求められる中で、同キャスターは生まれた。昨年入社した宮下氏は、開発に携わり、物流業界に広く普及してほしいという思いを持つ。「段差の衝撃で荷物が落下する、段差があるため手作業での持ち上げなど、不便な部分が多いというお客様の声から改良を重ね、出来上がった。特に手押し台車やロールボックスパレットなどに適している」と宮下氏は説明する。

最大約40ミリの段差を乗り越えられる秘密は、業界初の新機構「デイドライブ」。後輪が「段差に押し返される力」

を前輪が「路面を押す力」に変換し、後輪が持ち上がることでスムーズに乗り越えられるという仕組みだ。

展示会での反応も上々で、特に女性から「運搬が楽にできそう」「これなら、どの年代の社員にも優しい」などの反応があり、手ごたえを得た。「乗り越えられるという『体感』を重視して設計されているので、このような反応はうれしい。特に入社してから本格的に携わって、第1作目の製品なので思い入れがある」

同製品は性能だけでなくデザインにもこだわっている。冷蔵庫やコーヒーメーカーなどの工業デザインを数多く手がけ、同社のデザイン顧問を務める秋田道夫氏がデザイン監修を手がけた。キャスターだけでなく製品を収納するケースにも工夫を凝らし、黒のスタイリッシュな箱に仕上げられている。

今後は「段差乗り越えキャスター」のような、今まで業界になかったものを一から生み出すことができればと話すが、宮下氏は「今年度は部署内に新入社員も加わり、さらに新たなアイデアも生まれるのでは。部署を越えて社員が良くコミュニケーションを取ることで、日々新しい刺激もある。これからも、様々な現場の課題に寄り添えるキャスターをお届けできたら」と話した。



段差乗り越えキャスターとともに写る宮下氏

(木村麻理奈)

